



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月6日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

上場取引所 東 名

コード番号 7266 URL <https://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 長谷川健一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 神谷明彦

TEL 0568-67-1211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	63,260	9.2	1,273		1,386		1,608	3.0
2025年3月期第3四半期	69,700	4.9	463		431		1,658	

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,555百万円 ( %) 2025年3月期第3四半期 366百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	74.75	
2025年3月期第3四半期	75.71	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	77,807	54,371	69.4	2,543.04
2025年3月期	78,331	53,041	67.3	2,420.47

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 54,019百万円 2025年3月期 52,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		7.50		12.50	20.00
2026年3月期		12.00			
2026年3月期(予想)				15.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,200	7.6	1,700	331.9	1,700	232.2	1,850	11.3	85.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	22,775,352 株	2025年3月期	23,475,352 株
2026年3月期3Q	1,533,402 株	2025年3月期	1,701,010 株
2026年3月期3Q	21,520,119 株	2025年3月期3Q	21,902,207 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(追加情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、資材価格や人件費の上昇に加え、円安の進行に伴う輸入価格の上昇が物価を押し上げており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。海外におきましては、地政学リスクの長期化に加え、米国の通商政策や中国の景気後退等、注視が必要な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野である自動車関連業界におきましては、米国の通商政策の影響や、地政学リスクに伴い半導体やレアアースの供給に影響が及ぶことが懸念されるなど、不確実性の高い状況が継続しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は63,260百万円（前年同期比9.2%減）と減収ではあるものの、営業利益は、中期の会社目標「業績の回復と事業成長」の実現に向けて9つの重点施策に取り組む中で、構造改革や原価低減活動の効果が表れたことにより1,273百万円（前年同期は463百万円の損失）と黒字化いたしました。経常利益は前年同期に比べ営業利益の増益により黒字化し1,386百万円（前年同期は431百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国子会社におけるテネシー工場売却に伴う固定資産売却益を計上したものの、前年同期に多額の投資有価証券売却益が発生したことにより1,608百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (a) 日本

自動車関連事業にてモデル末期機種の生産終了に伴い、売上高は26,620百万円（前年同期比6.3%減）となりました。利益面では減収および工場再編の準備費用による影響はあるものの、合理化投資をはじめとした改善施策が計画以上に推進できたことに加え、開発費の回収により、営業損失は420百万円（前年同期は832百万円の損失）と損失が縮小しました。

#### (b) 北米

為替影響に加え、半導体問題による減産および生産品目の入れ替わりに伴うモデル末期機種の生産終了により、売上高は18,783百万円（前年同期比19.3%減）となりましたが、北米拠点集約による構造改革、原価低減活動および合理化の推進により、営業利益は490百万円（前年同期比70.2%増）となりました。

#### (c) アジア

インドでの生産増加はあるものの、タイおよび中国での生産減少により、売上高は17,857百万円（前年同期比0.8%減）となりましたが、中国およびタイでの希望退職をはじめとした構造改革に加え、調達コストの改善により、営業利益は1,226百万円（前年同期は27百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、77,807百万円（前期末比524百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（2,400百万円）などにより、51,772百万円（前期末比854百万円の減少）、固定資産は、投資その他の資産の増加（369百万円）などにより、26,035百万円（前期末比330百万円の増加）となりました。

(ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、23,435百万円（前期末比1,854百万円の減少）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少（1,197百万円）や電子記録債務の減少（543百万円）などにより18,882百万円（前期末比1,622百万円の減少）、固定負債は4,553百万円（前期末比232百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、54,371百万円（前期末比1,330百万円の増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、1,611百万円（前年同期比16.0%減）、投資活動の結果減少した資金は、1,108百万円（前年同期は4,906百万円の増加）、財務活動の結果減少した資金は、618百万円（前年同期比85.6%減）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は15,165百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,611百万円の増加となりました。これは主として、仕入債務の減少額が1,921百万円であったものの、売上債権の減少額が3,169百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,108百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入が1,353百万円であったものの、有形固定資産の取得による支出が2,761百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、618百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金の純増額による収入が1,494百万円であったものの、長期借入金の返済による支出が590百万円、リース債務の返済による支出が548百万円、配当金の支払による支出が528百万円、自己株式の買取による支出が403百万円であったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想および、2025年8月27日に公表いたしました配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「連結業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 90,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 1,350	百万円 61.68
今回修正予想(B)	87,200	1,700	1,700	1,850	85.97
増減額(B-A)	△2,800	500	500	500	
増減率(%)	△3.1	41.7	41.7	37.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	94,341	393	511	2,084	95.24

## 配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想	—	10円 00銭	22円 00銭
今回予想	—	15円 00銭	27円 00銭
当期実績	12円 00銭	—	—
前期実績(2025年3月期)	7円 50銭	12円 50銭	20円 00銭

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,230	15,699
受取手形及び売掛金	15,631	13,231
電子記録債権	5,162	4,687
棚卸資産	14,054	13,975
その他	2,764	4,348
貸倒引当金	△215	△170
流動資産合計	52,626	51,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,740	6,070
機械装置及び運搬具（純額）	5,603	5,364
その他（純額）	7,764	8,518
有形固定資産合計	20,108	19,953
無形固定資産		
その他	1,092	1,208
無形固定資産合計	1,092	1,208
投資その他の資産		
投資有価証券	2,246	2,680
その他	2,283	2,218
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	4,503	4,873
固定資産合計	25,704	26,035
資産合計	78,331	77,807
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,057	6,859
電子記録債務	5,024	4,481
短期借入金	700	2,147
未払法人税等	474	235
賞与引当金	850	348
製品保証引当金	109	125
その他	5,288	4,685
流動負債合計	20,504	18,882
固定負債		
長期借入金	573	278
退職給付に係る負債	1,280	1,322
その他	2,931	2,952
固定負債合計	4,785	4,553
負債合計	25,290	23,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,289	7,289
資本剰余金	7,041	7,041
利益剰余金	29,435	29,721
自己株式	△1,206	△1,090
株主資本合計	42,560	42,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,114	1,434
為替換算調整勘定	8,155	8,911
退職給付に係る調整累計額	874	709
その他の包括利益累計額合計	10,144	11,056
非支配株主持分	337	352
純資産合計	53,041	54,371
負債純資産合計	78,331	77,807



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	69,700	63,260
売上原価	64,804	57,321
売上総利益	4,895	5,939
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,172	996
給料手当及び賞与	1,820	1,705
賞与引当金繰入額	46	46
退職給付費用	37	31
減価償却費	93	110
その他	2,188	1,775
販売費及び一般管理費合計	5,359	4,665
営業利益又は営業損失(△)	△463	1,273
営業外収益		
受取利息	96	75
受取配当金	173	59
為替差益	—	13
その他	121	183
営業外収益合計	391	332
営業外費用		
支払利息	174	75
為替差損	115	—
支払補償費	12	6
設備移設費用	—	96
その他	57	41
営業外費用合計	359	219
経常利益又は経常損失(△)	△431	1,386
特別利益		
固定資産売却益	299	849
投資有価証券売却益	3,598	164
ゴルフ会員権売却益	—	1
特別利益合計	3,897	1,015
特別損失		
固定資産処分損	174	20
減損損失	—	6
特別退職金	531	—
特別損失合計	706	26
税金等調整前四半期純利益	2,760	2,375
法人税、住民税及び事業税	594	495
法人税等調整額	462	251
法人税等合計	1,056	747
四半期純利益	1,703	1,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,658	1,608

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,703	1,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,558	320
為替換算調整勘定	584	770
退職給付に係る調整額	△94	△164
その他の包括利益合計	△2,069	926
四半期包括利益	△366	2,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△409	2,520
非支配株主に係る四半期包括利益	43	34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,760	2,375
減価償却費	2,199	2,386
減損損失	—	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△459	△502
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△9	△9
受取利息及び受取配当金	△269	△134
支払利息	174	75
特別退職金	531	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,598	△164
固定資産処分損益 (△は益)	△124	△829
売上債権の増減額 (△は増加)	3,469	3,169
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△554	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△692	△1,921
その他	△482	△2,199
小計	2,906	2,187
利息及び配当金の受取額	254	142
利息の支払額	△180	△74
特別退職金の支払額	△472	△30
法人税等の支払額	△588	△613
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,918	1,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	276	314
有形固定資産の取得による支出	△1,623	△2,761
有形固定資産の売却による収入	1,229	1,353
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	5,309	242
その他	△274	△245
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,906	△1,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,462	1,494
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△2,110	△590
リース債務の返済による支出	△476	△548
自己株式の取得による支出	—	△403
配当金の支払額	△295	△528
その他	△143	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,288	△618
現金及び現金同等物に係る換算差額	612	490
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,150	374
現金及び現金同等物の期首残高	11,175	14,412
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	378
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,325	15,165

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	28,420	23,286	17,993	69,700	—	69,700
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,097	3	4,763	13,864	△13,864	—
計	37,517	23,290	22,757	83,565	△13,864	69,700
セグメント利益又は損失(△)	△832	288	△27	△571	107	△463

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,620	18,783	17,857	63,260	—	63,260
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,403	1	3,726	11,131	△11,131	—
計	34,023	18,785	21,583	74,392	△11,131	63,260
セグメント利益又は損失(△)	△420	490	1,226	1,297	△23	1,273

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日の海外連結子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、意思決定の迅速化や管理体制の効率化を図り当社グループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により、経営の透明性をさらに高めるため、第1四半期連結会計期間より、今仙電機股份有限公司、イマセン フィリピン マニュファクチュアリング コーポレーション、イマセン ビュサイラス テクノロジー インク、イマセン マニュファクチュアリング (タイランド) カンパニー リミテッド、イマセン マニュファクチュアリング インディア プライベート リミテッド、ピーティール・イマセン パーツ インドネシアは決算日を3月31日に変更し、広州今仙電機有限公司、武漢今仙電機有限公司、イマセン メキシコ テクノロジー エス エー デ シー ブイは、連結決算日である3月31日に仮決算を行い、連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2025年1月1日から2025年3月31日までの3ヶ月の損益については利益剰余金で調整する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。